

現行「子育て・子育てワイワイプラン」の評価

－ 重点的取組みの評価に向けて －

現行「子育て・子育てワイワイプラン」（平成 22 年度～26 年度）には、「重点的な取組み」として、16 の取組みが挙げられています。

さらに、各取組みには、実施対象となる施策が複数挙げられており、「重点的な取組み」全体で 84 の施策が挙げられています。

ここでは、市で実施した調査結果等を基に、これらの「重点的な取組み」に関連する評価を、多角的に示しました。

今回の会議では御意見をいただき、次回の計画部会では各「重点的な取組み」の実施状況評価と関連評価とを組み合わせた「重点的な取組みの評価」の案をお示しする予定です。

市では、昨年度、子育て中の保護者の方へ「子育て支援ニーズ調査」を行いました。

このほか、子育てにかかわらない市民の方をも含めた市民全般の調査として、総合計画（後期基本計画 平成 21 年度～25 年度）の推進状況に対する評価（満足度・重要度）を把握するために行われた「市民意識調査報告書」等があります。

これらの調査結果を用いて、「重点的な取組み」に関連する評価をまとめました。

なお、これらの調査は、「重点的な取組み」のみを評価するために行われたわけではありませんが、他の計画に基づく関連施策も含めた評価となります。

【参考資料】

「事務報告書」平成 22 年度～24 年度

「西東京市市民意識調査報告書」調査対象 18 歳以上の市民 5,000 人（平成 24 年 9 月発行）

「平成 24 年度西東京市施策評価報告書」（平成 25 年 3 月発行）

「西東京市地域福祉に関するアンケート調査結果報告書」調査対象 18 歳以上の市民 2,500 人（平成 25 年 5 月）

「西東京市障害者基本計画策定のための調査報告書」調査対象 身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者、発達障害者、通級指導学級に通う手帳所持者・受給者・協力者・保護者の市民 4,424 人（平成 25 年 8 月発行）

「西東京市子育て支援ニーズ調査結果報告書」調査対象 小学校就学前保護者の市民 1,500 人・小学生保護者の市民 1,500 人（平成 26 年 3 月発行）

◆「市民意識調査」から抜粋・・・・・・・・・・・・・・・・

身近な生活環境について、10年前と比較した現在の状況を、どのように感じていますか、また、あなたの今後の生活にとって、重要なことですか（問5）

10年前と比較した、現在の身近な生活環境の状況の改善度を、平均で示しています。もっとも高い「鉄道・バスなどの公共交通の利便性」でした。今後の身近な生活環境の「重要度」平均ポイントでは、「防犯・防災などの生活安全対策」が最も高い結果となりました。

順位	10年前と比較した現在の状況(改善度)	平均
1	鉄道・バスなどの公共交通の利便性	0.58
2	電話・インターネットなどの通信環境	0.48
3	買い物の利便性	0.38
4	医療サービスの受けやすさ	0.33
5	街並み・景観	0.31
6	芸術や文化にふれる機会、学習する環境	0.21
7	緑や水辺などの自然環境	0.18
8	防犯・防災などの生活安全対策	0.17
9	スポーツに参加する機会、楽しむ環境	0.16
10	誰もが安心して暮らすための福祉環境	0.14
11	安全で歩きやすい道路環境	0.11
12	育児相談・保育園などの育児サポート環境	0.09
13	子どもの教育環境	-0.01
14	夏祭りなどの地域の行事・イベント	-0.08
15	町内会などの自治組織の活動	-0.20
16	就労時間、就労内容などの働く環境	-0.23
17	地元の商店街	-0.73

順位	今後の生活における重要度	平均
1	防犯・防災などの生活安全対策	1.69
2	医療サービスの受けやすさ	1.64
3	安全で歩きやすい道路環境	1.59
4	誰もが安心して暮らすための福祉環境	1.46
5	鉄道・バスなどの公共交通の利便性	1.36
6	買い物の利便性	1.26
7	緑や水辺などの自然環境	1.19
8	子どもの教育環境	1.18
9	街並み・景観	0.94
10	育児相談・保育園などの育児サポート環境	0.93
11	就労時間、就労内容などの働く環境	0.86
12	地元の商店街	0.72
13	電話・インターネットなどの通信環境	0.64
14	芸術や文化にふれる機会、学習する環境	0.57
15	スポーツに参加する機会、楽しむ環境	0.38
16	町内会などの自治組織の活動	0.36
17	夏祭りなどの地域の行事・イベント	0.20

◆「施策評価報告書」から抜粋・・・・・・・・・・・・・・・・

第3章 市民意識調査結果の分析

1. 施策ごとの満足度・重要度の分布状況

平成24年度と平成22年度に実施した市民意識調査結果について、満足度・重要度に応じて分類したものは図表12、13のとおりであり、これにより、各調査時点における施策の満足度・重要度の分布状況が読み取れます。

【高】 重 要 度	環 2-4 地球温暖化対策の推進 安 1-2 道路・交通の整備 安 2-1 災害に強いまちづくり 安 2-2 防犯・交通安全の推進 安 2-3 危機管理体制の整備	創 2-2 子育て支援の促進 笑 1-2 高齢者福祉の充実 笑 2-1 健康づくりの推進 環 2-3 公害対策の推進 協 2-3 健全な自治体経営の推進	環 1-2 みどりの空間の創出 環 2-2 ごみ対策の推進 協 2-1 開かれた市政の推進
	安 1-1 住みやすい住環境の創造	創 2-1 子ども参加の促進 創 2-3 学校教育の充実 笑 1-1 地域福祉の推進 笑 1-3 障害者福祉の充実 笑 1-4 社会保障制度の運営 笑 1-5 暮らしの相談の充実 笑 2-3 障害者の社会参加の拡大	創 3-2 学習活動の推進 環 1-1 みどりの保全・活用 安 1-3 上下水道の運営
	活 1-1 産業の振興 活 1-2 新産業の育成 活 2-1 まちの魅力の創造	笑 2-2 高齢者の生きがいづくりの充実 環 2-1 環境意識の高揚 協 1-1 市民主体のまちづくりの推進 協 1-2 協働のまちづくりの推進	創 1-1 人権と平和の尊重 創 1-2 国際化の推進 創 1-3 男女平等参画社会の推進 創 3-1 生涯学習社会の形成 創 3-3 スポーツ・レクリエーション活動の推進 創 3-4 芸術・文化活動の振興 協 2-2 地域情報化の推進
	【低】	満 足 度	【高】

図表12 平成24年度市民意識調査結果一覧

【高】 重 要 度	創 2-2 子育て支援の促進 安 1-2 道路・交通の整備 安 2-1 災害に強いまちづくり 安 2-2 防犯・交通安全の推進 安 2-3 危機管理体制の整備	創 2-1 子ども参加の促進 笑 1-2 高齢者福祉の充実 笑 1-3 障害者福祉の充実 笑 1-4 社会保障制度の運営 笑 2-1 健康づくりの推進 環 2-1 環境意識の高揚 協 2-3 健全な自治体経営の推進	環 1-2 みどりの空間の創出 環 2-2 ごみ対策の推進
	安 1-1 住みやすい住環境の創造	創 2-3 学校教育の充実 笑 1-1 地域福祉の推進 笑 1-5 暮らしの相談の充実 笑 2-3 障害者の社会参加の拡大 環 2-4 地球温暖化対策の推進	創 3-2 学習活動の推進 環 1-1 みどりの保全・活用 安 1-3 上下水道の運営 協 2-1 開かれた市政の推進
	活 2-1 まちの魅力の創造	笑 2-2 高齢者の生きがいづくりの充実 環 2-3 公害対策の推進 活 1-1 産業の振興 活 1-2 新産業の育成 協 1-1 市民主体のまちづくりの推進 協 1-2 協働のまちづくりの推進	創 1-1 人権と平和の尊重 創 1-2 国際化の推進 創 1-3 男女平等参画社会の推進 創 3-1 生涯学習社会の形成 創 3-3 スポーツ・レクリエーション活動の推進 創 3-4 芸術・文化活動の振興 協 2-2 地域情報化の推進
	【低】	満 足 度	【高】

図表13 平成22年度市民意識調査結果一覧

2. 満足度・重要度の経年変化

各施策の意識に関する経年変化は図表 14 のとおりです。「満足度(%) (重要度(%))」とは、市民意識調査の施策項目ごとの「満足(重要)」、「やや満足(やや重要)」の合計数を回答総数で除した割合です。

各施策の回答について、「満足(重要) = +2」、「やや満足(やや重要) = +1」、「やや不満(あまり重要でない) = -1」、「不満(重要でない) = -2」としてポイントを与え、これに回答数を掛け合わせた合計ポイントを「回答総数 - 無回答数 = 有効回答数」で除した平均値を算出し、これが全施策の平均値と比較して±0.1の範囲内にあるものを「中」、それより高い(低い)ものを「高」(「低」)としています。

施策項目	満足度					重要度				
	22 / 24	平成24年度		平成22年度		22 / 24	平成24年度		平成22年度	
		満足度 (%)	3段階 評価	満足度 (%)	3段階 評価		重要度 (%)	3段階 評価	重要度 (%)	3段階 評価
全体	↗	22.3%		21.5%		↘	70.7%		72.0%	
創1-1人権と平和の尊重	↗	20.2%	高	18.1%	高	↘	64.6%	低	66.7%	低
創1-2国際化の推進	↗	13.2%	高	12.3%	高	↘	47.7%	低	49.8%	低
創1-3男女平等参画社会の推進	↘	16.7%	高	17.0%	高	↘	54.0%	低	56.2%	低
創2-1子ども参加の推進	↗	22.4%	中	20.4%	中	↘	71.1%	中	74.0%	高
創2-2子育て支援の促進	↗	18.6%	中	14.9%	低	↘	75.3%	高	76.8%	高
創2-3学校教育の充実	↗	20.1%	中	15.3%	中	↘	68.1%	中	69.2%	中
創3-1生涯学習社会の形成	↘	24.6%	高	25.8%	高	↘	65.9%	低	69.2%	低
創3-2学習活動の推進	↗	46.4%	高	45.7%	高	↘	76.4%	中	78.1%	中
創3-3スポーツ・レクリエーション活動の振興	↗	29.9%	高	29.4%	高	↘	64.8%	低	65.0%	低
創3-4芸術・文化活動の振興	↘	32.3%	高	33.0%	高	↘	60.4%	低	62.7%	低
笑1-1地域福祉の推進	↗	17.5%	中	16.6%	中	↘	71.5%	中	74.2%	中
笑1-2高齢者福祉の充実	↗	21.8%	中	18.5%	中	↘	81.3%	高	84.1%	高
笑1-3障害者福祉の充実	↗	15.8%	中	14.1%	中	↘	74.4%	中	77.6%	高
笑1-4社会保障制度の運営	↗	16.0%	中	14.7%	中	↘	72.7%	中	76.0%	高
笑1-5暮らしの相談の充実	↘	18.4%	中	18.9%	中	↘	69.5%	中	72.1%	中
笑2-1健康づくりの推進	↗	25.1%	中	23.6%	中	↘	77.0%	高	79.2%	高
笑2-2高齢者の生きがいづくりの充実	↗	13.9%	中	13.8%	中	↘	67.1%	低	69.6%	低
笑2-3障害者の社会参加の拡大	↘	8.8%	中	9.7%	中	↘	70.4%	中	71.5%	中
環1-1みどりの保全・活用	↗	35.6%	高	35.0%	高	↘	74.0%	中	75.3%	中
環1-2みどりの空間の創出	↗	40.3%	高	38.3%	高	↘	81.9%	高	82.4%	高
環2-1環境意識の高揚	↗	17.4%	中	15.9%	中	↘	63.7%	低	86.2%	高
環2-2ごみ対策の推進	↗	52.8%	高	45.5%	高	↗	85.6%	高	82.9%	高
環2-3公害対策の推進	↗	24.8%	中	22.2%	中	↗	80.9%	高	64.9%	低
環2-4地球温暖化対策の推進	↗	14.8%	低	14.6%	中	↗	75.1%	高	73.7%	中

施策項目	満足度					重要度				
	22 / 24	平成24年度		平成22年度		22 / 24	平成24年度		平成22年度	
		満足度 (%)	3段階 評価	満足度 (%)	3段階 評価		重要度 (%)	3段階 評価	重要度 (%)	3段階 評価
安1-1住みやすい住環境の創造	↗	24.4%	低	23.6%	低	↗	73.1%	中	73.9%	中
安1-2道路・交通の整備	↗	26.7%	低	25.9%	低	↗	82.5%	高	82.3%	高
安1-3上下水道の運営	↗	33.7%	高	31.5%	高	↗	74.1%	中	72.5%	中
安2-1災害に強いまちづくり	↘	15.4%	低	17.0%	低	↗	83.2%	高	82.2%	高
安2-2防犯・交通安全の推進	↘	21.9%	低	24.0%	低	↗	84.8%	高	84.7%	高
安2-3危機管理体制の整備	↘	10.8%	低	12.1%	低	↗	85.0%	高	84.5%	高
活1-1産業の振興	↘	13.4%	低	13.8%	中	↘	66.3%	低	67.9%	低
活1-2新産業の育成	↘	6.5%	低	7.5%	中	↘	55.4%	低	56.0%	低
活2-1まちの魅力の創造	↘	13.5%	低	14.1%	低	↘	65.9%	低	67.3%	低
協1-1市民主体のまちづくりの推進	↘	15.2%	中	15.9%	中	↘	55.9%	低	58.9%	低
協1-2協働のまちづくりの推進	↘	11.3%	中	11.9%	中	↘	53.1%	低	56.6%	低
協2-1開かれた市政の推進	↗	41.0%	高	40.4%	高	↘	74.4%	高	76.0%	中
協2-2地域情報化の推進	↗	26.8%	高	25.6%	高	↘	60.9%	低	61.3%	低
協2-3健全な自治体経営の推進	↗	30.6%	中	29.1%	中	↘	75.7%	高	77.5%	高

満足度			
24年度		22年度	
高	13	高	13
中	16	中	18
低	9	低	7
計	38	計	38

重要度			
24年度		22年度	
高	13	高	14
中	11	中	10
低	14	低	14
計	38	計	38

図表 14 平成 22 年度、平成 24 年度市民意識調査結果の経年変化

第4章 施策評価実施結果

1. 評価結果概要

市民意識調査結果に加え、施策目標の達成状況や社会経済情勢の変化、及び国・都における施策の動向等を踏まえ、平成24年度の行革本部評価（総合評価）は、「都市基盤整備と環境配慮型社会の形成、自助・共助・公助の連携により災害への備えを万全にするとともに、地域主権時代へ向け、主体的な市民参加と協働を進め、強固で柔軟な行財政運営基盤を確立する」という方針で評価を行いました。

市民意識調査から読み取れる施策要請に応えるとともに、自助・共助を促進するための市民活動支援や、今後の行政ニーズ拡大へ対応する上での協働の観点も重視し、また、これらの施策遂行を確かなものとするため行財政運営基盤を強固にすべきとしたものです。

なお、前回施策評価において拡充重点化の方向性を示し、市民意識調査結果に一定の評価の表れが読み取れたものについては、これまでの取組により達成した現在の水準を維持し、今後の状況に応じてコストの投下を行うこととし、また、現在の取組の成果に対する満足が得られておらず、その重要性も実感として伝わっていないものについては、求められる成果を発揮するべく、今後の状況に応じてコストの投下を行うこととします。

その結果、傾向としては、平成22年度の評価結果よりも、施策実施コストの方向性と施策内容の方向性ともに幅広い評価となりました。

【拡充】	I コストをかけても成果を向上すべき施策領域 安1-2 道路・交通の整備 安2-1 災害に強いまちづくり	II コストは現状を維持しながら、成果を向上すべき施策領域 環2-3 公害対策の推進 環2-4 地球温暖化対策の推進 安2-2 防犯・交通安全の推進 安2-3 危機管理体制の整備 協1-1 市民主体のまちづくりの推進 協1-2 協働のまちづくりの推進	III コストを抑制しながら成果を向上すべき施策領域 環2-2 ごみ対策の推進 協2-3 健全な自治体経営の推進
	IV 必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域 創2-2 子育て支援の促進 創2-3 学校教育の充実 笑1-1 地域福祉の推進 笑1-2 高齢者福祉の充実 活1-1 産業の振興 活1-2 新産業の育成 活2-1 まちの魅力の創造	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域 創2-1 子ども参加の促進 笑1-3 障害者福祉の充実 笑1-4 社会保障制度の運営 笑2-1 健康づくりの推進 笑2-2 高齢者の生きがいづくりの充実 笑2-3 障害者の社会参加の拡大 環2-1 環境意識の高揚 安1-1 住みやすい住環境の創造	VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域 創1-1 人権と平和の尊重 創1-2 国際化の推進 創1-3 男女平等参画社会の推進 創3-1 生涯学習社会の形成 創3-2 学習活動の推進 創3-3 スポーツ・レクリエーション活動の推進 創3-4 芸術・文化活動の振興 笑1-5 暮らしの相談の充実 環1-1 みどりの保全・活用 環1-2 みどりの空間の創出 安1-3 上下水道の運営 協2-1 開かれた市政の推進
【絞込み】	VII 必要な場合はコストをかけるが、内容の絞込みをすべき施策領域	VIII 内容の絞込みをすべき施策領域	IX 内容を見直すべき施策領域 協2-2 地域情報化の推進
	【重点化】	施策実施コストの方向性	【効率化】

図表16 平成24年度施策評価行革本部評価（総合評価）結果一覧

2. 評価結果詳細

(1) 施策実施方針Ⅰ

「コストをかけても成果を向上すべき施策領域」【2施策】

①現在の計画が拡充・重点化の方向性にある施策の内容をさらに拡充するもの

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
安2-1	災害に強いまちづくり	H22	低	高	現状維持	重点化	現状維持	現状維持
		H24	低	高	拡充	重点化	拡充	重点化

②現在の計画が拡充・重点化の方向性にあるため、それを維持するもの

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
安1-2	道路・交通の整備	H22	低	高	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	低	高	現状維持	現状維持	拡充	重点化

(2) 施策実施方針Ⅱ

「コストは現状を維持しながら、成果を向上すべき施策領域」【6施策】

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
環2-3	公害対策の推進	H22	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	高	現状維持	現状維持	拡充	現状維持
環2-4	地球温暖化対策の推進	H22	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	低	高	拡充	重点化	拡充	現状維持
安2-2	防犯・交通安全の推進	H22	低	高	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	低	高	現状維持	現状維持	拡充	現状維持
安2-3	危機管理体制の整備	H22	低	高	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	低	高	拡充	現状維持	拡充	現状維持
協1-1	市民主体のまちづくりの推進	H22	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	低	現状維持	現状維持	拡充	現状維持
協1-2	協働のまちづくりの推進	H22	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	低	現状維持	現状維持	拡充	現状維持

(3) 施策実施方針Ⅲ

「コストを抑制しながら、成果を向上すべき施策領域」【2施策】

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
環2-2	ごみ対策の推進	H22	高	高	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	高	現状維持	効率化	拡充	効率化
協2-3	健全な自治体経営の推進	H22	中	高	拡充	現状維持	拡充	現状維持
		H24	中	高	拡充	現状維持	拡充	効率化

(4) 施策実施方針Ⅳ

「必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域」【7施策】

①これまでの取組みにより達成した現在の水準を維持し、今後の状況に応じてコスト重点化の可能性があるもの

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
創2-2	子育て支援の促進	H22	低	高	現状維持	現状維持	拡充	重点化
		H24	中	高	現状維持	現状維持	現状維持	重点化
創2-3	学校教育の充実	H22	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	重点化
笑1-1	地域福祉の推進	H22	中	中	拡充	重点化	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	重点化
笑1-2	高齢者福祉の充実	H22	中	高	拡充	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	高	拡充	現状維持	現状維持	重点化

②求められている成果を発揮するべく、今後の状況に応じてコスト重点化の可能性があるもの

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
活1-1	産業の振興	H22	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	低	低	現状維持	現状維持	現状維持	重点化
活1-2	新産業の育成	H22	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	低	低	現状維持	現状維持	現状維持	重点化
活2-1	まちの魅力の創造	H22	低	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	低	低	現状維持	現状維持	現状維持	重点化

(5) 施策実施方針Ⅴ

「コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域」【8施策】

①これまでの拡充・重点化の取組みにより達成した現在の水準を維持するもの

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
創2-1	子ども参加の促進	H22	中	高	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
笑1-3	障害者福祉の充実	H22	中	高	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
笑2-1	健康づくりの推進	H22	中	高	拡充	重点化	拡充	重点化
		H24	中	高	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
環2-1	環境意識の高揚	H22	中	高	拡充	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

②コスト、成果ともに現状を維持するもの

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
笑1-4	社会保障制度の運営	H22	中	高	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
笑2-2	高齢者の生きがいがづくりの充実	H22	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	低	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
笑2-3	障害者の社会参加の拡大	H22	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
安1-1	住みやすい住環境の創造	H22	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

(6) 施策実施方針Ⅵ

「コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域」【12 施策】

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
創1-1	人権と平和の尊重	H22	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
創1-2	国際化の推進	H22	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
創1-3	男女平等参画社会の推進	H22	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
創3-1	生涯学習社会の形成	H22	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
創3-2	学習活動の推進	H22	高	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
創3-3	スポーツ・レクリエーション活動の振興	H22	高	低	現状維持	効率化	現状維持	効率化
		H24	高	低	現状維持	効率化	現状維持	効率化
創3-4	芸術・文化活動の振興	H22	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
笑1-5	暮らしの相談の充実	H22	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
		H24	中	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
環1-1	みどりの保全・活用	H22	高	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
環1-2	みどりの空間の創出	H22	高	高	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	高	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
安1-3	上下水道の運営	H22	高	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
協2-1	開かれた市政の推進	H22	高	中	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	高	現状維持	効率化	現状維持	効率化

(7) 施策実施方針Ⅶ

「内容を見直すべき施策領域」【1 施策】

施策CD	施策名	評価年度	市民意識調査結果		一次評価		行革本部評価	
			満足度	重要度	施策内容	実施コスト	施策内容	実施コスト
協2-2	地域情報化の推進	H22	高	低	現状維持	現状維持	現状維持	効率化
		H24	高	低	現状維持	現状維持	絞込み	効率化

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・以上「施策評価報告書」から抜粋・・・・・・・・

◆現行ワイワイプラン「重点的取組み」について・・・・・・・・・・・・・・・・

1 子どもの権利に関する条例の策定と子どもオンブズパーソンの具体的検討

子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を地域で実現し、「子どもにやさしいまちづくり」を実現するための計画や施策・事業を推進していく基本理念となる「子どもの権利に関する条例」を市民・子ども参加で策定します。条例策定にあたっては、子どもへの権利侵害について相談を受け、救済や回復につなげる機関として、子どもオンブズパーソン制度の具体的な検討を行います。

【施策：1-1-1-1, 1-1-3-1】

【総合計画の該当箇所】

創造性の育つまちづくり

【平成24年度 施策評価報告書の該当箇所】

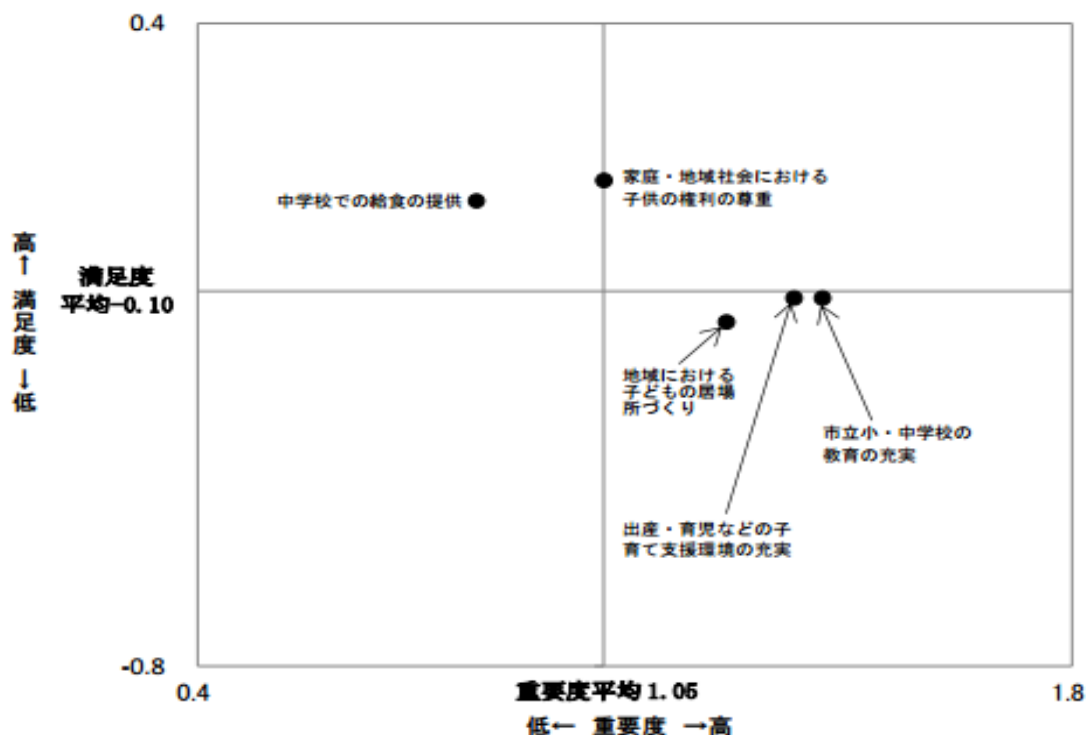
施策評価：子ども参加の促進 P.42 から抜粋

平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	20.4%	満足度(%)	22.4%
満足度(平均ポイント)	-0.11	満足度(平均ポイント)	-0.03
重要度(%)	74%	重要度(%)	71.1%
重要度(平均ポイント)	1.19	重要度(平均ポイント)	1.15

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【関連する調査結果等：市民意識調査報告書のCS分析から抜粋】

「家庭・地域における子どもの権利の尊重」が“重要度が比較的低く、満足度の高い”施策として位置づけられており、今後施策の充実により満足度の上昇および重要度の減少が見込まれます。



2 子育て支援事業、子ども事業に関する市民参加・子ども参加の充実

児童館などでは子どもの主体的な参加により、行事・事業が実施されていますが、市全体ではまだまだ十分といえません。市が実施する子育て支援事業、子ども支援事業の企画・運営に関する市民参加・子ども参加（子どもの意見を聞き、反映させるしくみ）を充実する取り組みを進めます。

◇子育て支援事業における市民参加・子ども参加型事業展開を進めます。

◇公園などの遊び場の設置・改善を子どもが中心となって企画などを行う子ども参加型で進め、子どもが遊びたくなるような遊び場を地域につくります。

◇市民参加・子ども参加を促すファシリテーターを地域で育成し、取り組みを支えます。

【施策：1-2-1-1, 1-2-1-3, 1-2-1-13, 1-2-2-1~4, 1-2-3-1】

【総合計画の該当箇所】

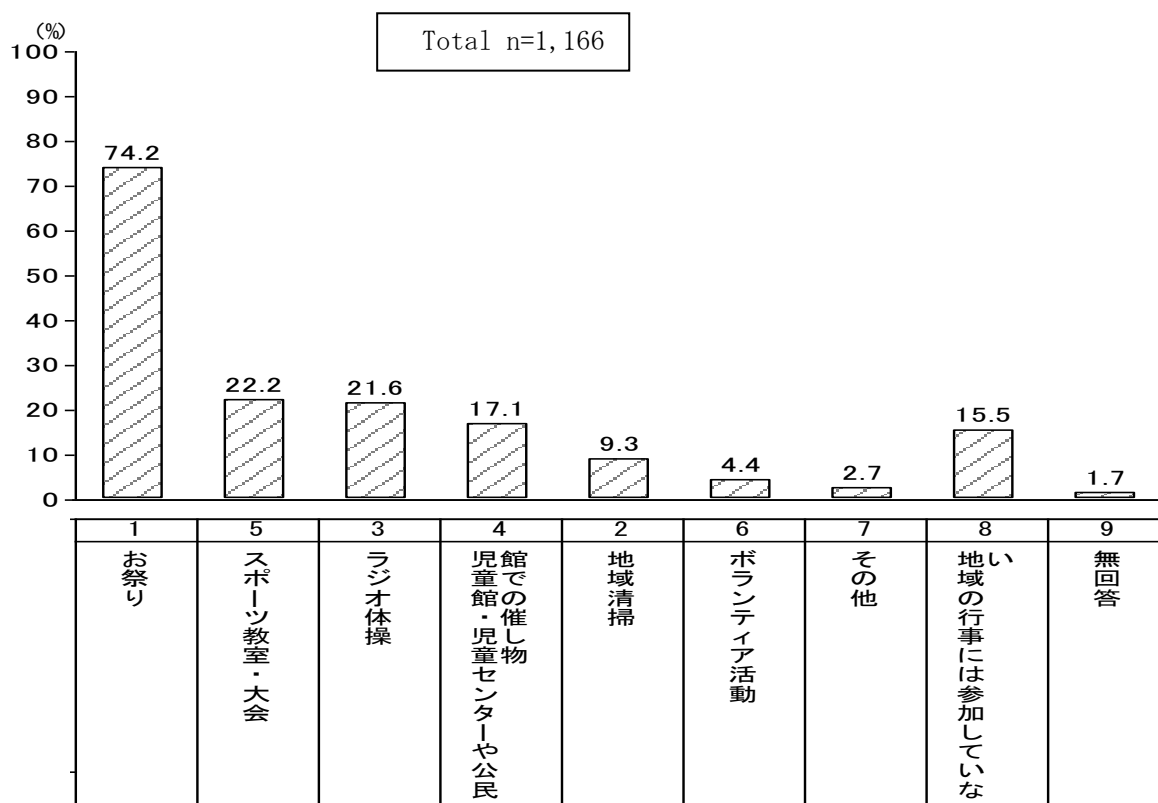
創造性の育つまちづくり

【平成24年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子ども参加の促進 P.42（本書 p.10 に掲載）

【関連する調査結果等：教育計画策定のためのアンケート調査報告書から抜粋】

「参加している地域行事」としては、「お祭り」（74.2%）をあげる児童が最も多く、次いで「スポーツ教室・大会」（22.2%）、「ラジオ体操」（21.6%）と続いている。学年別に見ると、「児童館・児童センターや公民館での催し物」に参加している児童は、4年生では22.2%見られるが、6年生では12.2%となっている。



3 児童館、小学校、中学校の連携による地域における子どもの居場所の充実

◇児童館の再編成、機能充実

児童館を機能別に再編成し、中高生を含む子どもたちの需要に合わせて施設整備を行うとともに、民間活力を導入した事業展開を進めます。

◇学校施設と地域の人材資源を活用した放課後活動の充実

現行の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館等の事業ごとの連携を図り、地域の青少年育成会、関連団体や地域の市民の参加を得て、小学校施設を活用した放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施します。

また、同様に中学校を活用した中学生対象の放課後活動の場について検討を進めます。

◇西東京市の環境のなかでの自然遊び場（プレイパーク）の設置を検討します。

◇「遊びの学校」やプレイパークにおいて、子どもの遊び・活動を支えるプレイリーダーの育成を進めます。

【施策：1-1-2-1, 1-2-1-2, 1-2-1-6, 1-2-2-5～6, 3-2-2-(1)-1, 3-2-2-(2)-1, 4-1-1-5, 4-4-1～2】

【総合計画の該当箇所】

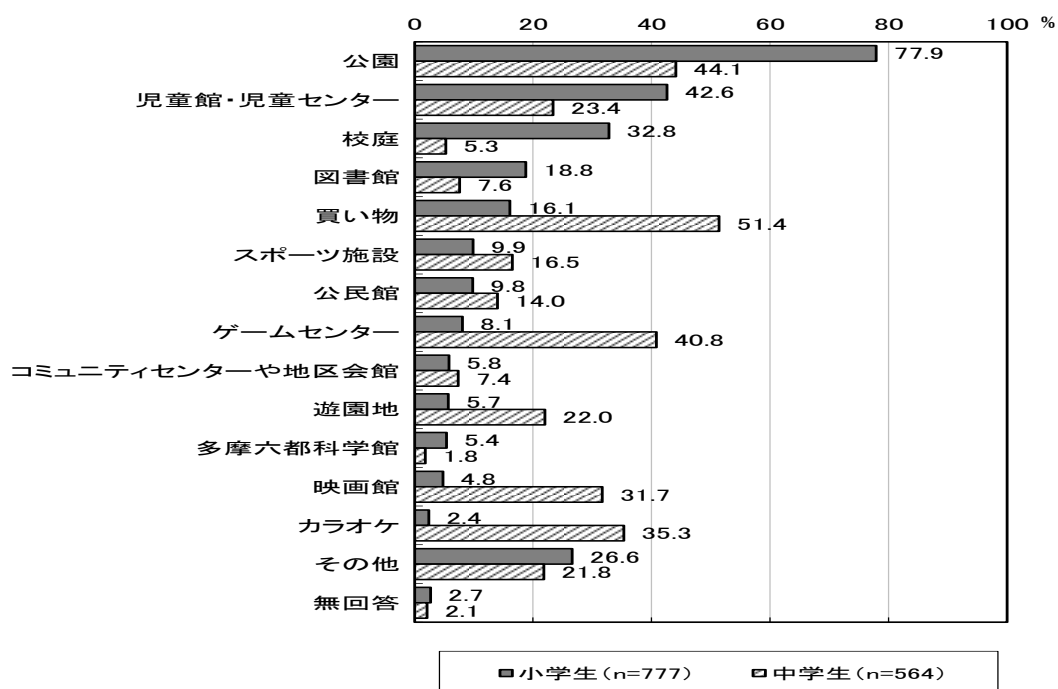
創造性の育つまちづくり

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子ども参加の促進 P. 42（本書 p. 10 に掲載）、子育て支援の促進 P. 46（本書 p. 14 に掲載）、学校教育の充実 P. 52（本書 p. 13 に掲載）

【関連する調査結果等：教育計画策定のためのアンケート調査報告書から抜粋】

学校以外の過ごし方「友達と外出するところ」として、小学生では「公園」、「児童館・児童センター」が多く、中学生では「買い物」、「公園」、「ゲームセンター」が多くなっています。



4 子どもと情報に関する取り組みの推進 <新規>

子どもを取り巻く情報が氾濫している中、適切な情報を子どもたちが選び取る・子どもたちに届ける／子どもが発信する方策を子どもとともに検討し、整備します。

- ◇子どもを有害情報から保護する方策を検討します。
- ◇子どもに提供する情報の内容を充実させます。
- ◇子どもと青少年が各年齢層に見合った方法で必要な情報に適切にアクセスし、発信できるしくみを、インターネットを活用しながら整備します。
- ◇日本語を母語としない子どもや障害のある子どもがアクセスしやすい工夫をします。

【施策：1-2-3-2, 1-2-3-1~6, 4-1-3-3】

【総合計画の該当箇所】

創造性の育つまちづくり

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

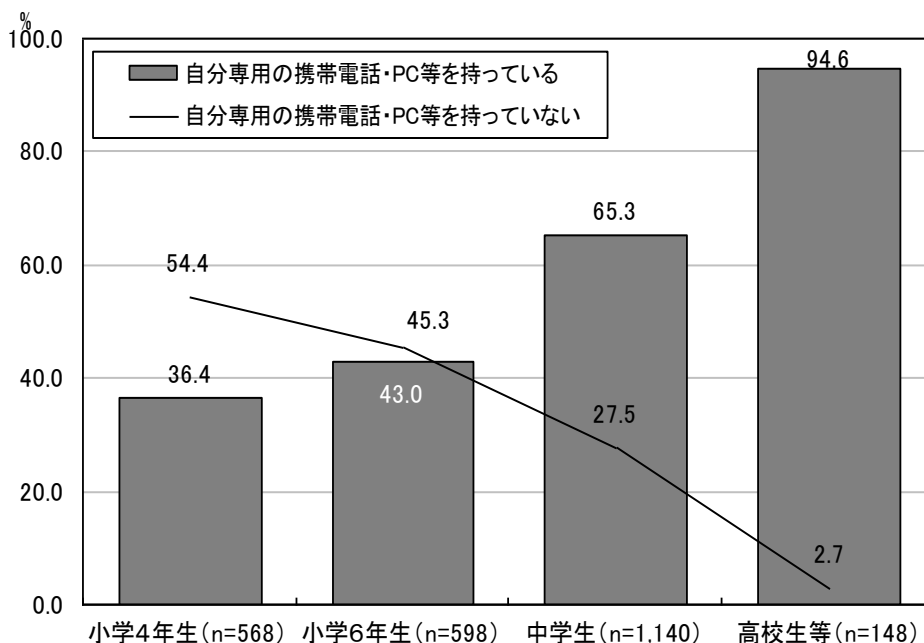
施策評価：学校教育の充実 P. 52

平成22年度		平成24年度	
満足度 (%)	15.3%	満足度 (%)	20.1%
満足度 (平均ポイント)	-0.2	満足度 (平均ポイント)	-0.02
重要度 (%)	69.2%	重要度 (%)	68.1%
重要度 (平均ポイント)	1.11	重要度 (平均ポイント)	1.12

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【関連する調査結果等：教育計画策定のためのアンケート調査報告書から作成】

「自分専用の携帯電話もしくはパソコンを持っているか」については、小学4年生では持っていない子どもが持っている子どもを上回っていたものの、小学6年生ではほぼ同程度、中学生では持っている子どもが持っていない子どもを大きく上回り、高校生等（短大生・高専生・専門学校生・大学生を含む。）になると9割以上が持っている状況となっています。



5 子どもと子育て家庭支援施策に関する評価推進体制の充実〈新規〉

西東京市で展開する子どもと子育て家庭に関する制度や事業について、計画の理念と照らし合わせて定期的に評価し、質を向上するためのしくみについて、子ども福祉審議会を中心に検討を進めます。

【施策：4-4-16】

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

子育て支援の促進 P. 46（本書 p. 14 に掲載）

平成22年度		平成24年度	
満足度 (%)	14.9%	満足度 (%)	18.6%
満足度 (平均ポイント)	-0.26	満足度 (平均ポイント)	-0.11
重要度 (%)	76.8%	重要度 (%)	75.3%
重要度 (平均ポイント)	1.36	重要度 (平均ポイント)	1.36

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【関連する調査結果等：学童クラブ保護者アンケート、評価・検証報告書 等】

民営化した北原学童クラブについて、平成 23 年 1 月に第三者評価を行いました。平成 24 年度には、下保谷学童クラブ利用保護者へアンケートを行い、また、平成 25 年度には市内すべての学童クラブの利用保護者へアンケートを実施しました。これらの調査報告書は、平成 25 年度第 1 回子ども子育て審議会にて、資料として配布しております。

さらに、子ども福祉審議会にて、平成 24 年度に保育園・子育て支援施設・学童クラブ・児童館を対象として、評価・検証を行いました。その結果は、「評価・検証報告書」としてまとめられました。

この報告書は、平成 26 年度第 2 回子ども子育て審議会にて資料として配布しております。

評価推進体制そのものについての調査はないが、利用者への調査や運営状況への調査を重ねることで、評価体制が整っていくものと考えられます。

6 青少年支援の充実

◇居場所、活動場所の支援

市民活動の場である公共施設の運営にあたっては、青少年の参加を得て利用ルール等の検討を行い、青少年が利用しやすいしくみを検討し、青少年の居場所・活動場所の充実を図ります。

◇ニート、若年親への支援

青少年が自立したおとなになっていく過程の取り組みとして、就労意識の向上や若年妊娠者・若年親への支援、児童養護施設等退所後の地域支援を充実します。支援対象は、児童福祉法に規定する児童（18歳未満）に限ることなく20歳代前半程度までを対象とし、取り組みを進めます。また、青少年の現状について保護者を対象とした相談や啓発事業を実施します。

【施策：1-1-2-2, 2-1-1, 2-1-4】

【総合計画の該当箇所】

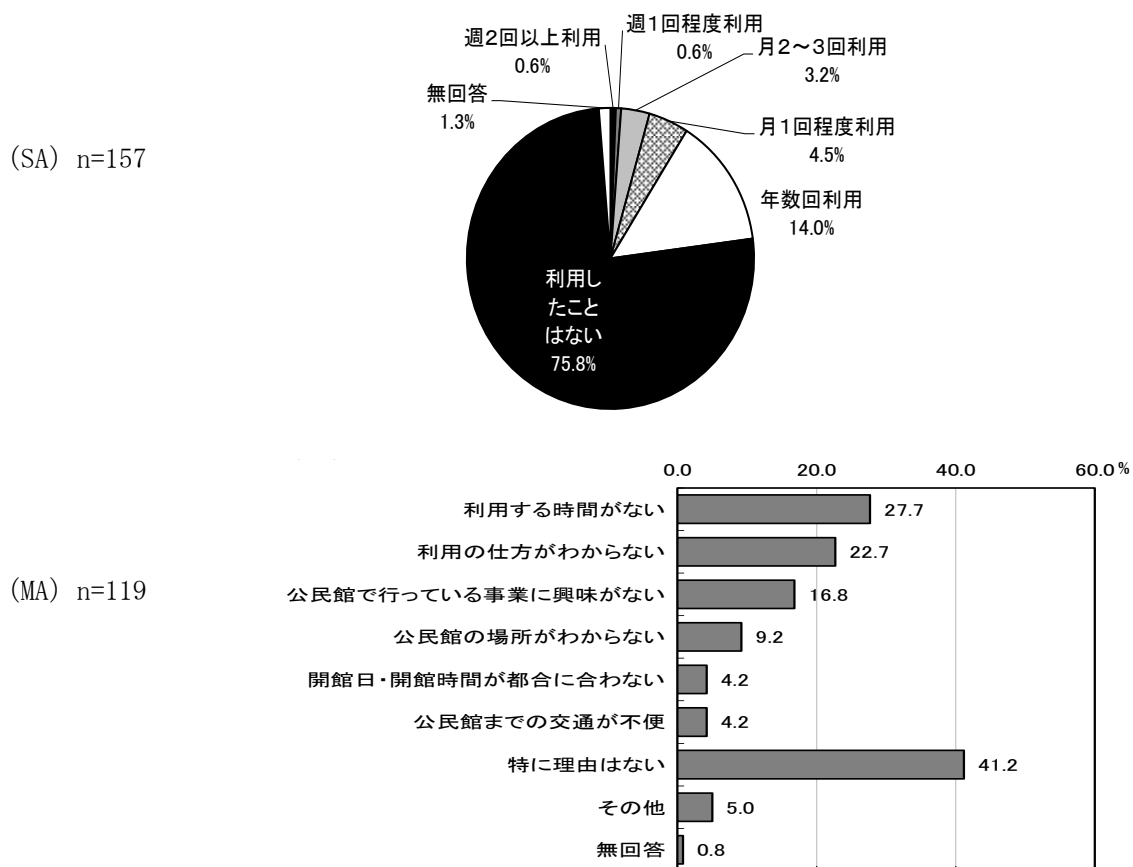
創造性の育つまちづくり

【平成24年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子ども参加の促進 P.42（本書 p.10 に掲載）、学校教育の充実 P.52（本書 p.13 に掲載）

【関連する調査結果等：教育計画策定のためのアンケート調査報告書から作成】

「青少年による公民館の利用状況」は、「利用したことはない」人が7割を超えており、その理由として「利用する時間がない」、「利用の仕方がわからない」などが挙げられています。



7 「青少年が育つまち」の実現 <新規>

青少年を取り巻く環境が急激に変化し、青少年の抱える問題がこれまでよりも多面的で複雑化しています。青少年が自ら成長しようとする育つ力の支援や育つ環境の整備をすることなどを通して、地域社会全体で青少年を見守り、支えていきます。

◇青少年の日の設定

市民全体があらためて青少年を意識する日として「青少年の日」を設定します。「青少年の日」には青少年が中心となって企画・運営するイベント等を実施します。

◇しゃべる場の設定

青少年自身が普段自分の感じていることや考えを表現する場としての「青少年のしゃべる場」を設定します。

◇見守り、支援する側の連携の強化

青少年の育ちに最も影響を与えるのは周囲の環境（家庭、学校、地域、行政）です。このことをしっかりと自覚し、街ぐるみで青少年の育ちを見守り、支援していくために、家庭、学校、地域、行政が連携を強めます。

【施策：2-1-5～7】

【総合計画の該当箇所】

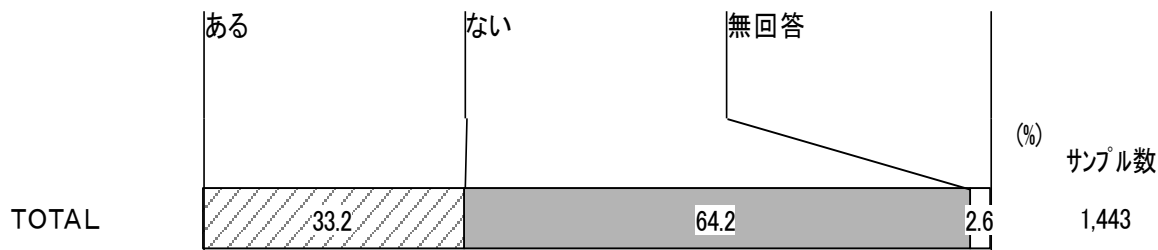
創造性の育つまちづくり

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子ども参加の促進 P. 42（本書 p. 10 に掲載）、P. 52（本書 p. 13 に掲載）

【関連する調査結果等：教育計画策定のためのアンケート調査報告書から抜粋】

ふだん、地域の子どもたち（小・中学生）と接する機会が「ある」人は 33.2%で、64.2%は「ない」と回答している。性・年代別に見ると、男性・女性ともに 40 代は、他の年代に比べて、地域の子どもたち（小・中学生）と接する機会が「ある」人の割合が高い。特に、女性 40 代では、接する機会が「ある」人が約 6 割と多くなっている。



8 子育て力向上のための取組みの推進

子どもが生まれたからといってそれだけで、親としての力が十分であるわけではありません。一方で、親になったばかりだからといって、何の力もないわけでもありません。親も成長し続ける存在であり、子どもと一緒に暮らすなかで、自分自身をふりかえりながら親としての力をつけていくという視点に立ち、先輩パパ・ママや同年代の親との交流・学びをはじめ、親がもっている力をひきだしていくような子育て力向上支援を、身近な子育て支援機関において積極的に進めます。

【施策：2-3-1, 3-1-1, 3-1-3, 3-2-2-(3)-3, 3-2-2-(4)-4】

【総合計画の該当箇所】

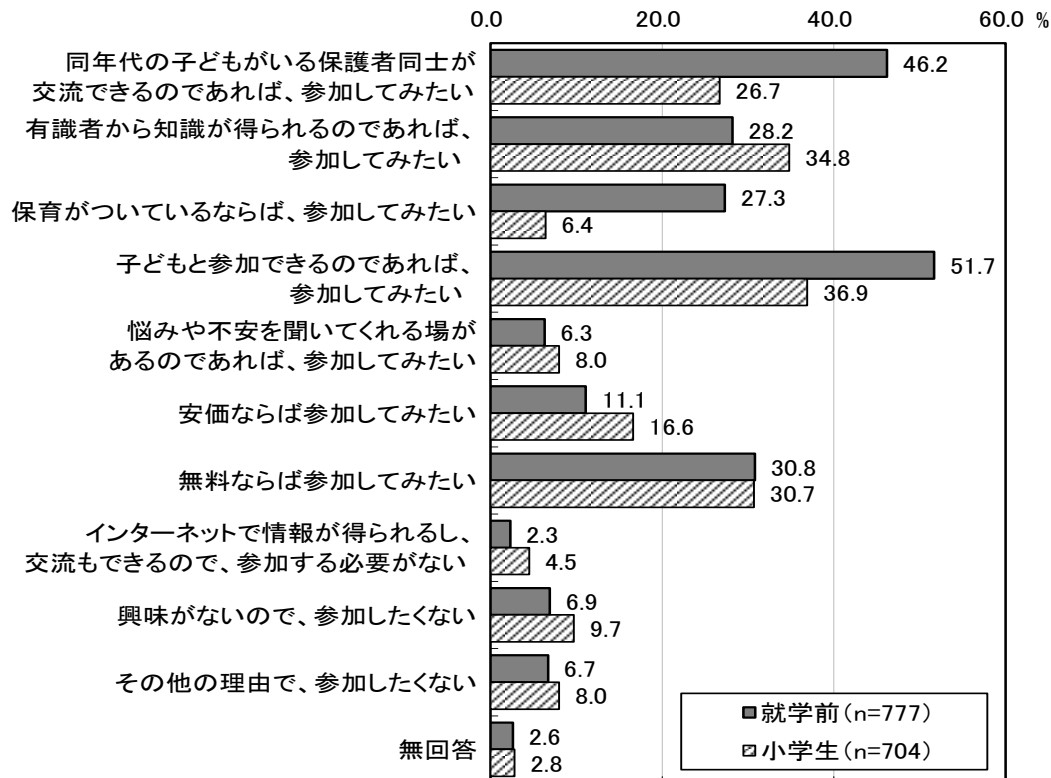
創造性の育つまちづくり

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子育て支援の促進 P. 46（本書 p. 14 に掲載）

【関連する調査結果等：子育て支援ニーズ調査報告書から抜粋】

「市や地域のサークルなどが主催するイベントや講習への参加」については、就学前児童・小学生児童を持つ保護者ともに「子どもと参加できるのであれば参加してみたい」が多く、次いで就学前では「同年代の子どもがいる保護者同士が交流できるのであれば、参加してみたい」、小学生では「有識者から知識が得られるのであれば、参加してみたい」が続いています。



9 子育て情報化の推進・充実

◇子育て情報提供の充実

行政や市民団体の各部署に散在するあらゆる子育て支援に関する情報を集約して提供する一元的なしくみを検討し、それぞれの取り組みの連携が促進され、市民に有効に活用される情報提供を進めます。また、インターネットを活用し子育て情報ポータルサイトの設置を検討します。また、エフエム西東京や地域のコミュニティ誌（紙）等の地域のメディアとの協働による情報提供についても検討を進めます。

◇ITネットワークを活用した子育て市民の相互交流活動の活性化支援

子育てに関する地域の力を育成・活性化するために、仕事に追われて忙しい父親や共働きの親のコミュニケーション手段として、インターネット等を活用した子育て家庭の交流や活動、議論のしくみを構築します。

◇日本語を母語としない子ども・保護者の言語と文化を尊重し、NPOや市民の協力を得ながら、アクセスしやすい情報提供につとめます。

【施策：3-2-2-(3)-1, 3-2-2-(4)-1, 4-1-1-6】

【総合計画の該当箇所】

創造性の育つまちづくり

【平成24年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子育て支援の促進 P. 46（本書 p. 14 に掲載）、地域情報化の推進 P. 178

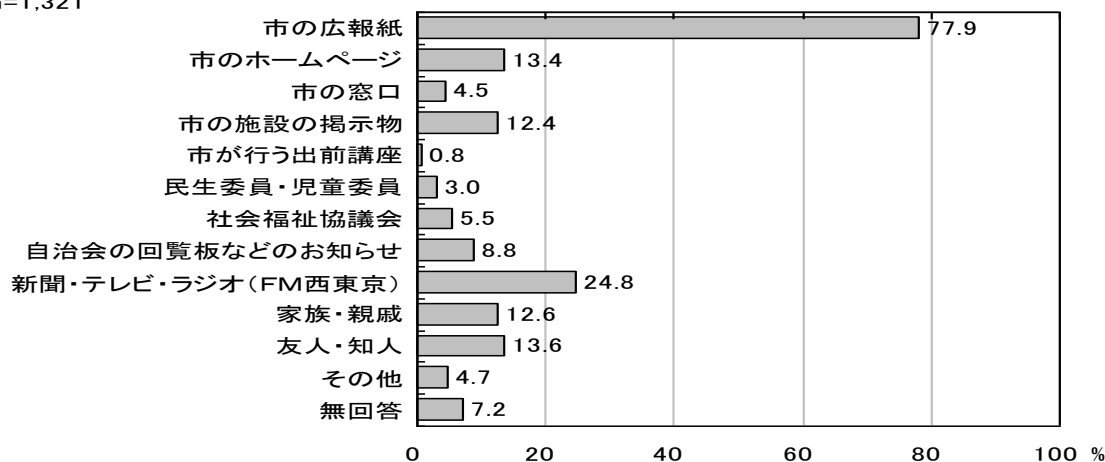
平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	25.6%	満足度(%)	26.8%
満足度(平均ポイント)	0.05	満足度(平均ポイント)	0.1
重要度(%)	61.3%	重要度(%)	60.9%
重要度(平均ポイント)	0.82	重要度(平均ポイント)	0.83

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【関連する調査結果等：西東京市地域福祉に関するアンケート調査結果報告書から抜粋】

「福祉に関する情報源」は、「市の広報紙」が77.9%と最も多く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ（FM西東京）」が24.8%となっています。30～49歳では「市のホームページ」が、60歳以上では「新聞・テレビ・ラジオ（FM西東京）」が他の年代に比べやや多くなっています。

n=1,321



10 食育に関する取り組みの推進

◇家庭における食育の取り組みの推進

教育委員会や学校と連携し、子どもや保護者に対して地場食材を活用した料理講座等さまざまな学習・啓発の機会を設定し、家庭における日常の食生活に食育を取り入れる取り組みを進めます。

【施策：3-1-1～2】

【総合計画の該当箇所】

創造性の育つまちづくり、笑顔で暮らすまちづくり

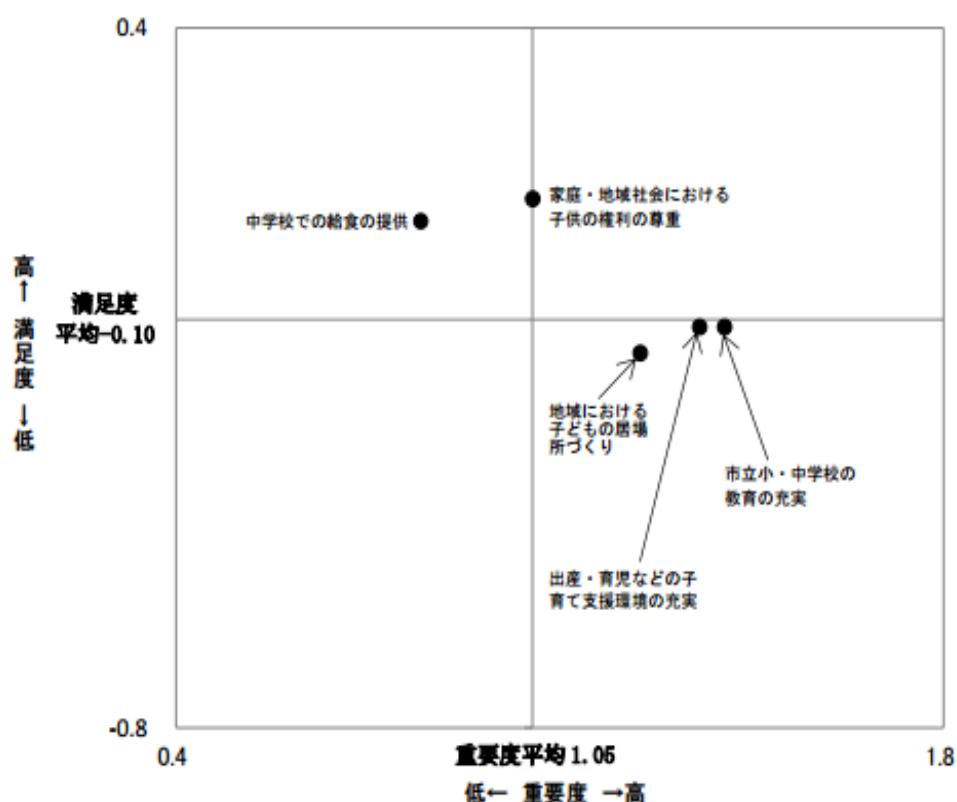
【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：学校教育の充実 P. 52（本書 p. 13 に掲載）、健康づくりの推進 P. 90（本書 p. 24 に掲載）

【関連する調査結果等：市民意識調査報告書のCS分析から抜粋】

「中学校での給食の提供」が“重要度が低く、満足度の高い”施策として位置づけられており、今後施策の充実により満足度の上昇および重要度の減少が見込まれます。

<CS分析>



11 「子ども総合支援センター」の充実

子育て・子育て支援の拠点（ハブ的機能）として、要保護及び要支援の児童・家庭に対する専門相談・ソーシャルワークを通して、必要な支援の総合的コーディネートを実施します。相談員、支援コーディネーターには、専門スタッフを配置し相談支援の強化を図ります。

「要保護児童対策地域協議会」においては、虐待をはじめ地域の要保護児童等の早期発見や適切な支援・保護を行うために、関係行政機関や地域の医師会、民生委員・児童委員等との情報共有や連携（ネットワーク）を強化・充実するとともに、基幹型保育園（地域子育て支援センター）を中心とする地域ブロックと協力して虐待防止に関する取り組みを充実します。

【施策：1-1-3-2, 3-2-2-(2)-2, 4-1-1-1, 4-1-2-1】

【総合計画の該当箇所】

創造性の育つまちづくり

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

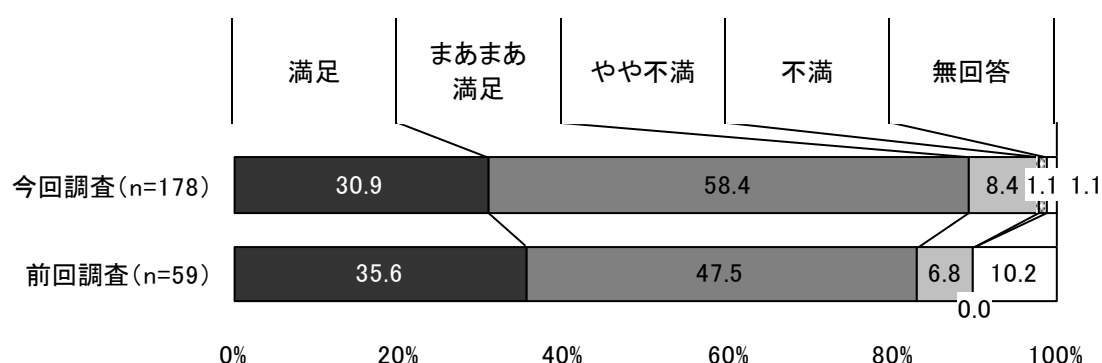
施策評価：子ども参加の促進 P.42（本書 p.10 に掲載）、子育て支援の促進 P.46（本書 p.14 に掲載）

【関連する調査結果等：子育て支援ニーズ調査から抜粋】

「地域子育て支援拠点事業の利用の満足度」については、「まあまあ満足」が 58.4%で最も多く、次いで「満足」が 30.9%となっている。

利用している地域子育て支援事業別の満足度をみると、地域子育て支援拠点事業、類似の事業ともに「まあまあ満足」がやや多くなっている。

前回調査（1）と比較すると、「満足」は 4.7 ポイント減少しているものの、「まあまあ満足」は 10.9 ポイント増加している。



12 基幹型保育園（地域子育て支援センター）を中心とする地域ブロックを踏まえ教育委員会を含めた行政内部（福祉・保健・教育）の調整・連携の強化、地域資源の活用

子どもや子育て家庭の抱える問題に対して予防や問題解決・回復のために、地域の児童福祉施設（保育園、児童館）、学校、幼稚園などの教育機関、その他市民の協力を得て、地域ごとに、すべての子どもと子育て家庭に対する支援を切れ目なく行うしくみづくりを進めます。特に、子どもに関する行政内部の調整・連携の強化を目指し、各部署の課題を共有し、また、子どもや子育てを支援するスタッフの組織化と力量形成によって質の向上を目指します。

【施策：4-1-1-2～4】

【総合計画の該当箇所】

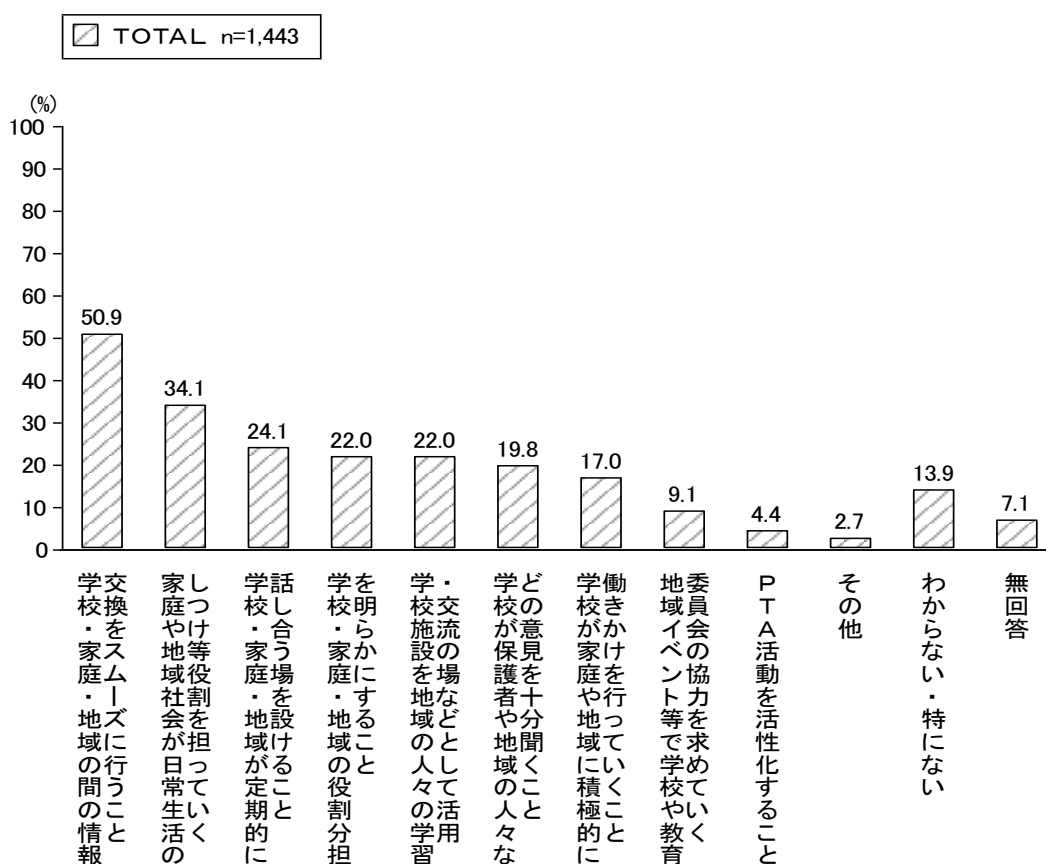
創造性の育つまちづくり

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子育て支援の促進 P. 46（本書 p. 14 に掲載）

【関連する調査結果等：教育計画策定のためのアンケート調査報告書から抜粋】

「学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なこと」としては、「学校・家庭・地域間の情報交換をスムーズに行うこと」をあげる人が 50.9%と最も多く、次いで「家庭や地域社会が日常生活におけるしつけ等役割を担っていく」が 34.1%で続いている。



13 保育支援の拡充 <新規>

保育園の入園待機児を解消するために、認可保育所に加え、認証保育所等の積極的な拡充を図り、幼稚園の預かり保育の推進等について検討します。また、保育の質の確保に努め、多様な保育ニーズに配慮した総合的保育制度を目指します。在宅児支援としての一時保育事業の充実を図ります。

子育て不安解消のための支援事業を充実させる中で、市民やNPO組織等の活用も検討します。

【施策：4-1-1-8～11, 4-1-1-17～20】

【総合計画の該当箇所】

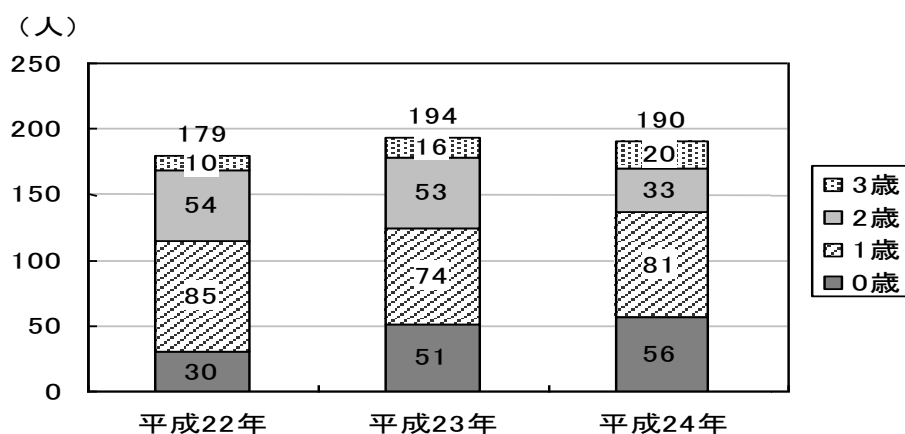
創造性の育つまちづくり

【平成24年度 施策評価報告書の該当箇所】

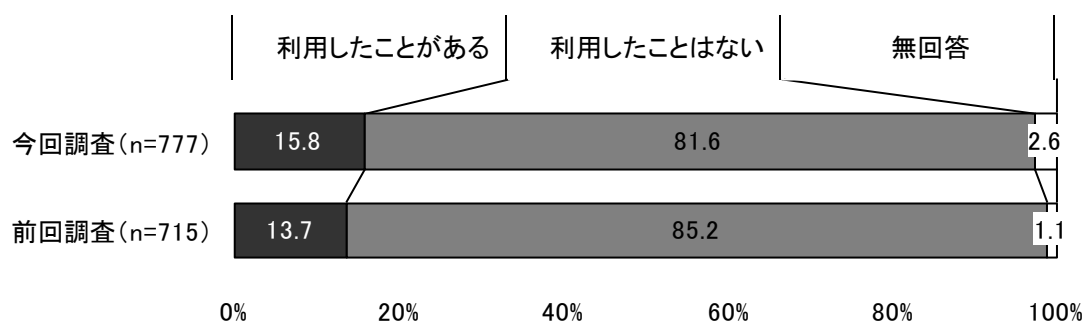
施策評価：子育て支援の促進 P.46（本書 p.14 に掲載）

【関連する調査結果等：事務報告書 及び 子育て支援ニーズ調査結果報告書から抜粋】

・待機児童は近年、増減を繰り返しながら推移をしています。



・一時預かりの利用状況は、5年前の調査と比べ、「利用したことがある」がわずかに増加しているものの、おおむね同様の傾向となっています。



14 障害児に対する乳幼児期からの成長過程に応じた切れ目ないトータル支援体制の構築と制度改善

◇支援コーディネーター（専門相談員）の設置

子ども総合支援センターにスタッフを配置し、医療、福祉、教育の連携を図ったトータル相談（コーディネート支援）を実施します。

◇地域で育つことを基本にした取り組み

乳幼児期から学齢期まで、地域の保育園や幼稚園、児童館等において、地域の中で育つしくみを構築します。また、学校との十分な連携による横断的・縦断的な支援を進めます。

制度改善支援コーディネーター（専門相談員）による相談や地域での取り組みから生じた課題をもとに、制度改善を目指します

【施策：4-1-2-3～14】

【総合計画の該当箇所】

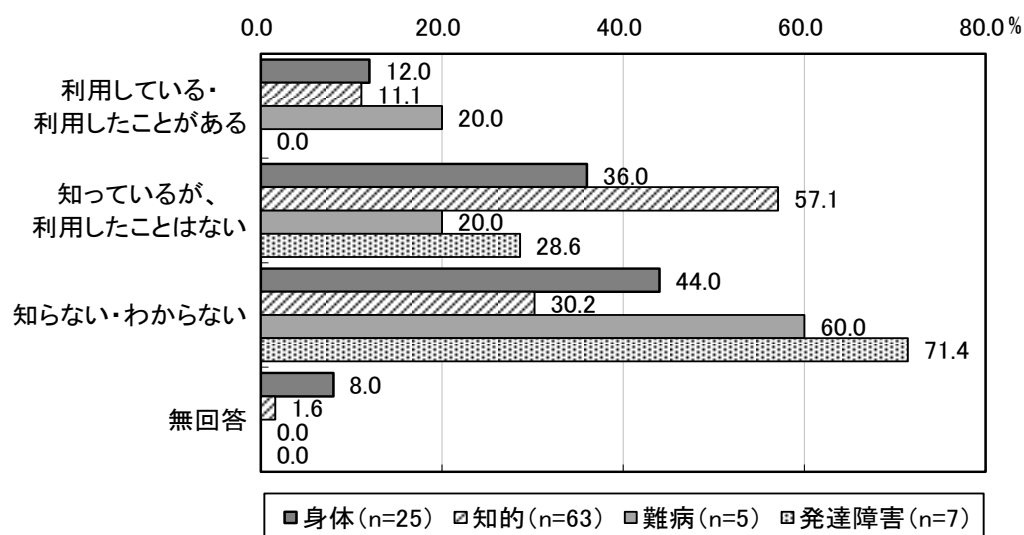
創造性の育つまちづくり、笑顔で暮らすまちづくり

【平成 24 年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：子育て支援の促進 P.46（本書 p.14 に掲載）、学校教育の充実 P.52（本書 p.13 に掲載）、健康づくりの推進 P.90（本書 p.24 に掲載）

【関連する調査結果等：西東京市障害者基本計画策定のための調査報告書から作成】

「通常の学級にいる障害のある児童生徒を支援する介助員制度の認知」については、知的では「知っているが利用したことはない」が最も多いものの、その他の障害では「知らない・わからない」が最も多くなっています。



15 母子保健と保育、子育て支援の連携強化

妊娠・出産から子育て期まで、若年妊娠、子育て不安、小児疾患、障害、養育力不足、児童虐待などの支援を必要とする児童および家庭に対して早期に状況を把握し、必要な支援を切れ目なく行うため、母子保健と子ども家庭支援の連携強化を進めます。また、支援を必要とする家庭に対する訪問型支援を進めます。

【施策：3-2-2-(3)-3, 4-1-2-2, 4-2-1-1~6】

【総合計画の該当箇所】

創造性の育つまちづくり、笑顔で暮らすまちづくり

【平成24年度 施策評価報告書の該当箇所】

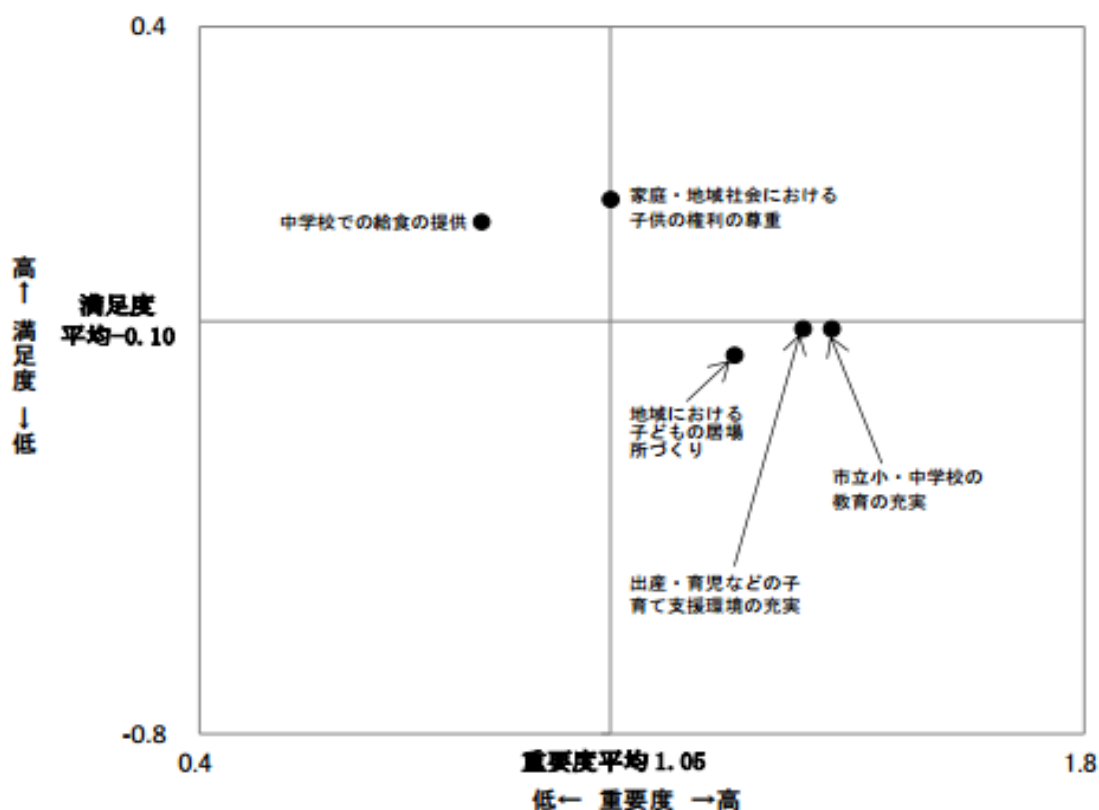
施策評価：子育て支援の促進 P.46（本書 p.14 に掲載）、健康づくりの推進 P.90

平成22年度		平成24年度	
満足度 (%)	23.6%	満足度 (%)	25.1%
満足度 (平均ポイント)	-0.11	満足度 (平均ポイント)	-0.01
重要度 (%)	79.2%	重要度 (%)	77%
重要度 (平均ポイント)	1.29	重要度 (平均ポイント)	1.22

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【関連する調査結果等：市民意識調査報告書のCS分析から抜粋】

「出産・育児などの子育て支援環境の充実」が“重要度が高く、満足度が平均よりも低い”施策として位置づけられており、今後、重要施策として検証が求められます。



16 子どもの防災防犯安全の確保

災害時における子どもと子育て家庭への支援や、安全確保のために小学校区を地域単位とした見守り活動組織化を進め、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検や子どもにやさしいまちづくりの検討を進めます。

【施策：1-2-1-4～5， 4-4-4～5】

【総合計画の該当箇所】

安全で快適に暮らすまちづくり

【平成24年度 施策評価報告書の該当箇所】

施策評価：災害に強いまちづくり P.142、 防犯・交通安全の推進 P.146

平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	17%	満足度(%)	15.4%
満足度(平均ポイント)	-0.25	満足度(平均ポイント)	-0.35
重要度(%)	82.2%	重要度(%)	83.2%
重要度(平均ポイント)	1.42	重要度(平均ポイント)	1.53

災害

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	24%	満足度(%)	21.9%
満足度(平均ポイント)	-0.26	満足度(平均ポイント)	-0.27
重要度(%)	84.7%	重要度(%)	84.8%
重要度(平均ポイント)	1.41	重要度(平均ポイント)	1.45

防犯

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【関連する調査結果等：教育計画策定のためのアンケート調査報告書から作成】

「登下校時の避難場所の認知」については、小学6年生では「知っている」が8割を超えているものの、中学生になると「知っている」が7割を下回っています。

